

JOA が IOF を脱退する日が来る？

財政破綻に向かう日本オリエンテERING協会

地獄の沙汰も金次第？
最低限の環境維持に必要な
お金すら JOA に足りていない。



JOA 事務局の入る岸記念体育館。
日本体育協会の本部ビルであり、日本オリ
ンピック委員会も入居している。

JOA は危機的な財政状況

2012 年度の JOA は危機的な財政状況
となっている。一般会計でおおよそ年間
200 万円が不足している状況である。以
前は指導員収入があったが、年々指導
員収入が減少し、とうとう過去に積み
上げた基金からの取り崩しが始まろう
としている。

このままの状況で数年もすれば、運
転資金が枯渇し、会社でいえば倒産し
てしまう。いよいよリストラやむなし
の状況である。数年先には IOF からの
脱退、日本体育協会からの脱退、事務
局の縮小を実施し、細々とした組織運
営となりかねない。

愛好家は JOA をどうしたいか

オリエンテERING愛好家は JOA が
どのような形で存在するのがよいと感
じるだろうか。

今、普通に行われているオリエン
テERING競技会は、JOA 公認であるなし
に関わらず、ほぼ国際競技規則に沿
って実施されている。この競技規則は国
際オリエンテERING連盟 (IOF) によ
って作成され、JOA によって日本国内に
周知されている。統一ルールで競われ
るというスポーツにとって当たり前の
状態は日本国内の競技団体である JOA
によってもたらされているのだ。

IOF のルール改正などの情報を JOA
が収集し、国情にあったルールにして

まとめ、web などの広報手段で周知して
いる。事務作業、広報作業ひとつひと
つに手間と経費がかけられている。

こうした統一ルールが無ければ、競
技はすぐに崩壊する。たとえばオリ
エンテERING競技会に参加してみたら
地図がイラストだったり、コントロール
でクイズが行われたり・・・

実際、ロゲイニングを名乗る大会で
は競技性が崩壊している例も見られる
のだ。オリエンテERINGとて例外で
はない。

愛好家が JOA を支えるには

日本を代表する団体として国際組織
IOF に加入し、日本体育協会に加盟し、
事務局を岸記念館に置くという、スポ
ーツ団体として最低限である現状を維
持するために、ある程度の財源は必須
である。その財源を愛好家が準備する
ことこそが、愛好家が自らの競技環境
を維持することにつながる。意思を財
源にすることが求められている。

長期的な財源

今まで指導者登録収入に頼っていた
JOA 財源を、実際の競技者に広く負担し
ていただく方式に切り替えて行くこと
が向かう自然な方向であろう。今後、
JOA よりいくつかの提案が行われると
思うが、その意図と動向に注目して欲
しい。

財源のひとつとして考えられるのは、
JOA 競技者登録料の値上げだろう。た
えば現在¥2,000 の登録料を¥3,000 にす
ることも不足財源を補う有効な方法と
なるだろう。

もうひとつは、大会の会計から寄付
金提供をお願いするものである。たと
えば大人の参加者 1 名あたり¥100 を
JOA 協力金として参加費に含めていた
だき、大会主催者から JOA に寄付をい
ただくというものである。公認大会で
は公認料の上積という形になるかもし
れない。

さらにもうひとつとして、地図の認
証制度というアイデアもある。地図を
公認するにあたってこれを販売する団
体から地図一枚あたりのロイヤリティ
を JOA に入れていただくというアイ
デアだ。

本当の長期的な財源は愛好家を多く
増やすことだが、なかなか上手くい
っていないのが現状である。

短期的な財源

競技者登録の値上げにしろ、公認大
会の公認料値上げにしろ、周知期間や
機関決定なしに実現できるものではな
い。しかしあまり悠長なことを言っ
ても、財政破綻は待ってくれない。

短期的な財源として当面最も有効な
のは寄付金の募集である。今の JOA の
窮状を広く多くの愛好家に知ってい
ただき、愛好家の皆さんや団体から寄
付をいただくしかないのだ。この記事も
そのお願いのひとつなのだ。

「公益法人」を活かそう！

2012 年に JOA が公益法人となり、さ
らに 2012 年末には内閣府より募金が税
額控除となる認可が下った。これは公
益法人でないとなかなか得られない特
典、いわば「国のお墨付き」である。

これは、募金した人の所得税の一部
が免除になるというもの。どのくらい
税金が戻ってくるのかというと、いろ
んなケースがあるので一概には言えな
いが、多くの場合は以下の金額分が減
税になる。

(募金金額-¥2,000) × 0.4

確定申告で、この制度を上手く利用
すると、金銭的な負担を少なくして、
JOA に大きな寄付をすることが可能と
なる。「ふるさと納税」ならぬ「JOA 納
税」のようにも思えるこの制度を活用
して JOA を助けてあげてほしい。

そして長期的な財源を確保すること
にも知恵と理解をいただきたい。

代表組織として

JOA の以下の存在意義を認めていた
だき、オリエンティアの代表組織とし
て JOA を支えていただきたい。

- (1) 皆さんの普段の活動に、代表組織
として利用していただけるため。
- (2) 日本を代表するオリエンテERING
組織として、IOF に加盟し続け、
世界選手権やアジア選手権に選手
を送り続ける環境を守り、アジア
や世界のオリエンテERINGの普
及・発展にも貢献するため。
- (3) 代表組織として体育協会にも加盟
し続け、日本国内でのオリエン
テERINGの地位の維持、向上を行う
環境を守るため。

(JOA 業務執行理事 木村佳司)